

## 下水道施設（水再生センター・ポンプ場）で 大雨に備えた訓練を実施しました

横浜市の下水道施設では、毎年、梅雨時期以降の大雨に備え、雨水ポンプや自家発電設備などの主要設備の整備状況や訓練状況を点検する「一斉点検」を実施しています。

今年度は6月8日（木）に大雨対応の訓練を行うとともに、新たな取組として、全ての水再生センターでドローンを活用した訓練を行いました。これにより、被災時に職員がドローンを用いて施設点検する体制が整いました。

また、昨年度に引き続き『横浜市下水道施設に関する災害時の応急措置の協力に関する協定』を締結している「一般社団法人横浜管機設備協会」及び「一般社団法人日本建設業連合会関東支部」との協働により、災害時を想定した合同訓練を実施しました。

（参考）大雨に備えた訓練を実施します（令和5年6月1日 記者発表）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kankyo/2023/kunren.html>



### 【一斉点検・訓練概要】

- 1 日時：令和5年6月8日（木） 9：00 ～ 11：45
- 2 場所：市内全ての水再生センター11か所及び水再生センター所管ポンプ場8か所

### 【一斉点検、訓練の様子】



### ＜手動によるポンプ設備等運転＞

機器の故障により通常運転が不能になった場合を想定し、現場盤によるポンプ・自家発電設備等の手動運転の訓練を実施。

更に、全停電した状況を想定し、自家発電設備の手動運転により電源を確保し、ポンプを手動運転するまでの一連の対応について訓練を実施。



### <ドローンを活用した訓練>

全ての水再生センターに配備されているドローンにより、被災を想定した設備点検訓練を実施。



### <四足歩行型ロボットを活用した被災状況確認訓練>

『横浜市下水道施設に関する災害時の応急措置の協力に関する協定』を締結している、「一般社団法人日本建設業連合会関東支部」と合同で、四足歩行型ロボットの遠隔操作による被災状況確認訓練を実施。



### <可搬型自吸式ポンプによる排水訓練>

『横浜市下水道施設に関する災害時の応急措置の協力に関する協定』を締結している、「一般社団法人横浜管機設備協会」と合同で、災害時の可搬式排水ポンプによる排水訓練を実施。

お問合せ先

環境創造局下水道施設管理課長 大橋 洋明 Tel 045-671-3573